

利根中央病院を受診された患者様へ

当院では下記臨床研究を実施しております。本研究対象者に該当する可能性のある方で、自身の診療情報を提供することを希望されない方は、「不同意書」の提出をお願いします。
※「不同意書」は病院1階総合支援センターにあります。

研究名	下部消化管穿孔の診断エラー頻度と要因（多施設後ろ向き研究）
承認番号	臨研倫審 2020 年度-7
当院における 研究責任者	周佐 峻佑（利根中央病院 総合診療科 医員）
他施設における 研究責任者	原田 拓（昭和大学江東豊洲病院 総合診療科 助教）
研究目的	下部消化管穿孔は特異的な症状に欠けることから誤診されることが多いとされる急性腹症の一つである。診断に至っても死亡率が3割～5割と高く、緊急性が高い疾患でもあるが、下部消化管穿孔に対する診断エラーの頻度やその成因についての体系的な研究は存在していない。本研究は多施設で下部消化管穿孔の症例をカルテ記載から抽出し、後方視的に診断エラーの頻度やその成因を明らかにするためにを行う。
研究期間	2020年7月27日～2021年3月31日
研究対象となる方	2015年1月1日から2019年12月31日の間に「病名」ないし「CT検査の読影レポートで下部消化管穿孔と診断され、診断時15歳以上の方。医原性の症例は除く。
研究方法	カルテより、診察した医師の特性、勤務帯、診察した状況、患者情報（年齢、性別、施設入所の有無、糖尿病・認知症・寝たきり・精神疾患・鎮痛薬の慢性使用・向精神薬の慢性使用・便秘薬の慢性使用・ステロイドや免疫抑制剤の慢性使用の有無）、臨床経過（発症から受診、診断までの時間・受診した医療機関の性質や数・発熱・腹痛・腹部の圧痛の有無）、採血検査結果、画像検査結果を抽出し、診断エラーが生じたかどうかは Revised Safer Dx Instrument を用いて判断する。
他施設への試料及び 情報提供の有無	有り
個人情報の取扱い	取得した診療情報は各施設の個人情報管理責任者が匿名化し、外部から切り離されたコンピューター内に保存される。取得した全情報は本研究終了時から5年、もしくは研究結果発表から3年経過するまで保存される。

利益相反の有無	なし
(お問い合わせ先)	Tel : 0278-22-4321 利根中央病院 外科医長 郡隆之
備考	